

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	プロジェクトやコンソーシアム等の形成							
指標名	プロジェクトやコンソーシアム等の形成数							指標の種類
指標式	プロジェクトやコンソーシアム等の形成数							成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a			2	2	2			6
実績b	データ等の出典							
東北	県内企業等への聞き取り調査等							
全国								
把握する時期 当該年度中 月 翌年度 04月 翌々年度 月								

指標名	イベント1回当たりの平均参加者数							指標の種類
指標式	イベント1回当たりの平均参加者数							成果指標 業績指標
年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
指標	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	最終年度
目標a			15	15	15			45
実績b	データ等の出典							
東北	イベントの出席者数							
全国								
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月								

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	様々な業界、世代、業種等の方々が集まり、自由な発想をもとに議論することは、大きな変革をもたらすことに繋がるものであり、必要な事業と考える。
住民ニーズに照らした事業の必要性	審議会の意見にもあるとおり、当該取組は先進技術の活用による大きな変革を生むものであり、少子高齢化等の社会課題解決のため、求められている。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 自発的な動きが生まれるまで、プロジェクトの形成等を牽引する必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業 其他